

< J Aバンク中央アカデミー >

全国研修のご案内 (No.1230、No.1370)

税務 (法人) 研修

～ 法人向け税目 (法人税・消費税) にかかる専門的知識を学ぶ講座 ～

- 決算事務と法人税申告書の作成または融資先の財務諸表分析等に必要となる法人税・消費税にかかる知識習得を目的としています。
- 信連等の企画管理・融資部署等で決算処理や財務分析等を行うため、法人税・消費税を身に付けたい方で、弊社が開催する「税務基礎研修」を受講済みの方、もしくは、同等の知識を有する方のご受講をお奨めします。

○ 日 程 (4日間×2回)

第1回 2022年7月12日 (火) 9:30 ～ 15日 (金) 15:40 (オンライン研修)

第2回 2022年9月13日 (火) 9:30 ～ 16日 (金) 15:40 (集合研修)

○ 開催方法

第1回 ウェブ会議システム「Webex Meetings」によるオンライン研修

第2回 農林中央金庫品川研修センターでの集合研修

※ 第1回、第2回ともに集合研修を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症状況を鑑み、第1回はオンライン研修で開催します。第2回につきましては、集合研修を予定していますが、7月上旬の状況により、オンライン研修に変更となる場合があります。ご了承のうえ、お申し込みください。

○ オンライン研修に関する留意事項

- ① 農林中央金庫が配付した iPad 端末等、ウェブ会議システム「Webex Meetings」が安定して利用できる機器(スマホでの参加はご遠慮ください)と通信環境の良い会場をご準備ください。
- ② ウェブ会議システムによるオンライン研修の性格上、回線トラブル・操作トラブル等の不具合が発生する可能性があることをあらかじめご了承のうえ、お申し込みください。

○ 研修のねらい（こんな時）

信連等の企画管理部門、推進部門および融資部門等、さまざまな部署において日常業務を行うためには幅広い税務の知識の習得が不可欠です。

ご担当の各部門で必要となる税目にかかる専門知識の習得に向け、円滑な業務実施にお役立てください。

○ 想定する受講対象者

信連等の企画管理部署・融資部署で関連する税務知識が必要な職員

○ 考え方（研修の骨格）

本研修については、円滑な決算事務と法人税申告書の作成、または融資先の財務諸表分析、貸倒処理等の正確な理解を目的として、法人税を中心に法人向け税目（法人税・消費税）について、講師がとりまとめたテキストに基づいて2部構成で実践的に学びます。

○ 関係者の声

（河野講師から）

法人税、消費税は、自らの決算処理を行う場合のみならず、顧客企業の財務分析や信用判断等、業務遂行の中で不可欠なものといえます。

法令、通達、判例などを丁寧に読み解きながら、かつ、枝葉末節にとらわれるのではなく、基本をしっかりとおさえ、毎年変更される税制にも対応していける、太い幹となるような知識を身に着けていただきたいと考えております。

演習問題等を通じて、参加者、講師が一体になって考え、語らう雰囲気を進めていきます。ご参加をお待ちしています。

（昨年のアンケートから）

- 普段何となく耳にする所得税や減価償却等について、背景等を学ぶことが出来て良かった。
- 系統の事例も織り交ぜながら説明いただいたのが非常に良かった。
- 申告書への記入方法も含めて分かりやすく教えていただけました。
- 先生の経験を踏まえた事例を聞くことができ、参考になった。

○ 研修講師紹介

河野 利明（こうの としあき）

<略歴> メーカー勤務を経て、昭和61年税理士資格取得。現在MOS合同法律事務所パートナー。当社講師として、各県域でのJA等向け研修および全国研修（税務（個人））講師として活躍中。

○ 研修プログラム（予定） ※ 進行により、時間配分等変更の可能性があります。

第1回 オンライン研修

	セッション名	内容等	講師
【1日目】 9:00 接続開始			
9:20	事務連絡		
9:30	<開講> 法人税のあらまし 総則（納税地・事業年度 など）	法人税の特徴 納税義務者、課税所得の範囲など	河野講師
12:00			
13:00	課税所得計算の仕組み 決算調整と申告調整	益金・損金、調整事項 収益・費用等の計上時期	河野講師
17:00	(終了)		
【2日目】 9:00 接続開始			
9:30	別表四・五（一）の関連 税効果会計の仕組み	貸借対照表・損益計算書と法人税申告 書別表の関係など	河野講師
12:00			
13:00	受取配当等の益金不算入 所得税額控除等 (問題演習)	益金不算入額の計算など 控除税額の計算 税率、申告、納税など	河野講師
17:00	(終了)		
【3日目】 9:00 接続開始			
9:30	棚卸資産 減価償却資産	評価方法など 対象資産、資本的支出など	河野講師
13:00	減価償却、繰延資産 (問題演習)	償却方法、償却限度額の計算など	河野講師
17:00	(終了)		
【4日目】 9:00 接続開始			
9:30	資本的支出と修繕費 圧縮記帳	判断の考え方 基本的仕組み	河野講師
12:00			
13:00	(問題演習) 振り返り		河野講師
15:30	(アンケート記入) (15:40 解散)		

第2回 農林中央金庫品川研修センターでの集合研修（予定）

	セッション名	内容等	講師
【1日目】 8:50 集合			
8:55	事務連絡		
9:00	消費税の概要	消費税の仕組み 課税対象・非課税取引	河野講師
12:00		仕入税額控除	
13:00	消費税の計算と申告 (問題演習)	納付税額の計算 消費税の経理方法など	河野講師
17:30	(終了)		
【2日目】 8:50 集合			
9:00	(消費税総合問題演習) 貸倒損失	金銭債権切捨、回収不能など	河野講師
12:00			
13:00	貸倒引当金 (問題演習) 評価損益等 (問題演習)	引当金繰入限度額など 有価証券、固定資産等の評価損益	河野講師
17:30	(終了)		
【3日目】 8:50 集合			
9:00	役員給与 租税公課	役員の範囲、役員給与の損金不算入など 損金可否区分、損金算入時期	河野講師
12:00	(問題演習)		
13:00	交際費 (問題演習) 寄付金 (問題演習)	損金算入限度額、類似費用との区分など 損金算入限度、寄付金の範囲	河野講師
17:30	(終了)		
【4日目】 8:50 集合			
9:00	法人税申告書作成演習 別表四・五(一)の作成方法等	協同組合法人税申告書 別表各表の作成演習	河野講師
12:00			
13:00	(つづき) 全体の振り返り・補足		河野講師
15:30	(アンケート記入) (15:40 解散)		

○ 募集人員

定員 25名

- ※ 応募人数が大幅に定員を上回った場合は、受講をお断り・調整する場合があります。
- ※ 応募人数が10名を下回った場合は、開催を中止させていただくことがあります。
- ※ 正式なご案内は、事務の都合上、3週間前頃の送付となります。

○ 参加費用（予定）（消費税込）

	第1回	第2回	計	備 考
受講料	96,360円	—	96,360円	教材費を含みます。
宿泊代	—	4,000円	4,000円	
食事代	—	8,400円	8,400円	
合 計	96,360円	12,400円	108,760円	

○ 日程および会場

	日 程	会場・宿泊場所
第1回	2022年7月12日（火）～ 15日（金）	オンライン
第2回	2022年9月13日（火）～ 16日（金）	農林中央金庫品川研修センター

（注）宿泊人数の関係で近隣ホテル等での宿泊となる場合があります。

<集合研修の場合の集合日時>

研修前日の15:00～21:00の間に品川研修センターにチェックインしてください。

（集合日の夕食は準備しておりませんので、各自でお済ませください。）

<集合研修の場合の研修会場(宿泊場所)>

農林中央金庫 品川研修センター

（住所）東京都港区港南2-10-13

（電話）03-6758-3170

○ オンライン研修の受講端末について

- ① 農林中央金庫が配付したiPad 端末等、ウェブ会議システム「Webex Meetings」が安定して利用できる機器(スマホでの参加はご遠慮ください)と通信環境の良い会場をご準備ください。
- ② 同じ会場で複数の端末を使用する場合は、マイク付きイヤホンを使用するなどハウリング防止対策を講じてください。
- ③ 通信環境の良い場所で受講してください。通信速度は以下のサイトで測定できます。

（参考）USENのスピードテストサイト⇒<https://speedtest.gate02.ne.jp/>

上記サイトの判定結果のうち「ビデオ会議」が「快適」だと比較的安定します。

- ※ 農林中央金庫が配布したiPadでは、上記サイトにアクセスできません。ドコモ回線(4G)を利用しているスマホ等を利用して測定してください。

○ 申込みの方法

5月27日（金）までに以下の方法でお申込みください。

お申込み	申込方法
信農連・1JA県JA	「研修申込・履歴管理システム」によりお申込みください。
農林中金本支店・営業所	N-Style より農林中金系統人材開発部へお申込みください。

以 上

【本件にかかる照会先】（極力メールでご照会ください）
（株）農林中金アカデミー 研修企画部 全国研修担当 山口・安達・小野寺
メール：kensyu@nc-academy.co.jp
電 話：03-6457-8917